

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム 媛の華

(ユニット名) 1 階

記入者(管理者)
氏名 大原 チスカ

評価完了日 平成 20年 3月 10日

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年5月7日

【評価実施概要】

事業所番号	3870105834		
法人名	有限会社 媛の華		
事業所名	グループホーム 媛の華		
所在地	松山市別府町183番地2 (電話) 089-968-3005		
管理者	大原 良平 大原 チスカ		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目5-19扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成20年3月25日	評価確定日	平成20年5月7日

【情報提供票より】 (平成20年2月20日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成18年3月31日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	16人	常勤	15人, 非常勤 2人, 常勤換算 15.0人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	33,000円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1月当たり 35,000円		
(3)利用者の概要 (平成20年2月20日現在)			
利用者人数	18名	男性 5名	女性 13名
要介護1	4名	要介護2	4名
要介護3	8名	要介護4	2名
要介護5	0名	要支援2	0名
年齢	平均 77.6歳	最低 61歳	最高 92歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定	あり・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護	
指定	あり・なし	指定認知症対応型通所介護	
届出	あり・なし	短期利用共同生活介護	
加算	あり・なし	医療連携体制加算	

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>毎朝、近くのご自宅まで新聞をとりに行き、読まれている利用者がおられる。ご自分の畑で野菜作りもされている。食事を早々にすませ、高校野球をテレビで観戦される方や手編み物・裁縫をされる方もおられた。 食事時に、男性の利用者が生きいきと、他の利用者の下膳や台拭きをされていた。又、職員とともにいろいろな歌を歌い、楽しんでおられる様子がうかがえた。 利用者が飼っている犬の散歩や神社へのお参りに出かけておられる。</p>
--

【質向上への取組状況】

<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の評価結果を受けて、外出の機会を増やされた。
<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価は、管理者と職員で取り組まれた。
<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の民生委員の方や住民・公民館長の方・ご家族の代表者等の出席を得て、会議を行っておられる。地域行事を教えていただいたり、事業所での行事等の報告をされている。
<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月のお知らせとともに「媛の華便り」第一号をご家族に送付されている。事業所の行事等、取り組みを報告された。家族会を年一回、敬老会を行う際に開催されている。ご家族から感謝の声は多いが、ご意見は少なめである。
<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近くのスーパーに買い物等に出かけられ、あいさつされている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1.理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			地域の行事などに参加し、喜び・安心そして、ご家族や地域に対しても、できるだけ開かれた場でありたいと考えています。		地域の学校・保育園からの訪問も積極的にしていきたい。運動会、おゆうぎ会等
			(外部評価)		
			事業所の目指すケアについて理念を作っておられる。		さらに、貴事業所が「地域密着型サービス」を提供する事業所として、地域の中でどのようなことを目指していくのかということについて、この機会に話し合ってみてほしい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			利用者本人の心身の潜在力を引出して生活を再編し、喜びと誇り・安定を取り戻せるよう個人にあたりハビリ等を支援している。		徐々に生活に馴れるよう気長く取り組んで行っている。
			(外部評価)		
			管理者は、朝のミーティングの中で理念の実践について話し、全職員で共有できるよう努めておられる。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価)		
			地域の行事の参加(バザー)・ホーム便りの発行		ホームの行事にも案内し、気軽に訪問してもらうよう努力する。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 近所の美容院を積極的に利用したり、駐車場に縁台をおいて天気のよい日は日向ぼっこをして近所の方が立寄りやすい雰囲気づくりしている		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の公民館活動による運動会・餅つき会・バザー等に参加させてもらい気軽に地域の人と接する機会をつくっている		地域の老人会との交流をしていきたい。地域の行事等は見学等で参加はあまりないので積極的に参加させてもらうようにしたい
			(外部評価) 近くのスーパーに買い物等に出かけられ、あいさつされている。		さらに、地域との関係性を深めていけるような働きかけを、重ねていかれることが期待される。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価)		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 毎月の職員会・毎週の勉強会にも評価の意義を上げて小時間話し合いをしている		推進会議の委員さんの発言があまりないのでもっと意見が欲しい。
			(外部評価) 自己評価は、管理者と職員で取り組まれた。前回の評価結果を受けて、外出の機会を増やされた。		サービス評価の仕組みを十分活かし、貴事業所の質の向上に向けて、取り組みを工夫していかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			推進会議では行事計画報告等が多く委員さんの訪問を積極的に促している。委員さんの来訪をお願いしているが多忙な関係であまり来て下さっていない。		
			(外部評価)		
			地域の民生委員の方や住民・公民館長の方・ご家族の代表者等の出席を得て、会議を行っておられる。地域行事を教えていただいたり、事業所での行事等の報告をされている。		さらに、会議の機会を十分に活かして、いろいろな立場からのご意見を引き出せるよう、会議のすすめ方についても工夫を重ねていかれることが期待される。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			市生活福祉課の担当者との連携は密にしている。		
			(外部評価)		
			生活福祉課の担当者と相談しながら利用者を支援しておられる。現在、運営推進会議に市の担当者の出席はない。		事業所の取り組みをさらに知っていただくためにも、市の担当者等に会議に出席していただけるよう、働きかけてみてはどうだろうか。
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			成年後見制度の会には出席しているがまだ必要なことがない		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			各種研修会に参加し充分理解はしている。尚、職員会において議題は取り上げ注意を促す		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居時は必ず契約書を読んで充分説明し納得の上入居してもらっている		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 玄関に意見箱を設置し、要望など遠慮なく申し出てもらっている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 各入居者の生活状況を変化がある無しに関係なく近況報告をしている		年間を通じてきまった回数現状報告書のようなものを作って家族に報告するようしたい
			(外部評価) 毎月のお知らせとともに「媛の華便り」第一号をご家族に送付されている。事業所の行事等、取り組みを報告された。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見箱に何事についても要望・不満等を申し出てもらうようお願いしている		
			(外部評価) 家族会を年一回、敬老会を行う際に開催されている。ご家族から感謝の声は多いが、ご意見は少なめである。		さらに、ご家族の心情を踏まえ、ご意見をいただけるよう働きかけの工夫を重ねていかれることが期待される。ご意見を運営に反映できるような仕組み作りが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の職員会・毎週の勉強会には要望・意見を出してもらっている又、緊急を要す件については随時行っている		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 職員の無理のないよう勤務をしてもらっている。週37.5時間の勤務を厳守している		毎月の職員会に要望等を積極的に発言してもらうようにしたい。あまり発言がない
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 職員の退職以外には異動はない。		
			(外部評価) 職員の離職時には、他の職員がカバーして、利用者にはダメージがないようにされている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 職員のひつこの向上を目指して研修の積極的参加を勧めている		職員に対して各種資格を取得するよう勧めるがなかなか意欲がない
			(外部評価) 管理者や一部の職員が外部研修に参加されている。緊急時の対応等、事業所内での勉強会を行っておられる。		さらに、全職員が段階に応じて勉強をするような機会作りや、職員研修の年間計画を作る等、事業所全体でさらに質向上するための取り組みをすすめていかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)			
			他のホームの職員にも見学に来てもらったり、家族には、他に交流のあるホームもあります。と伝えている。どうしても希望があれば移動も可能だと伝えている			
			(外部評価)			
			管理者は、同業者と交流されている。		他の事業所の取り組みをさらに知り、意見交換できるような機会を増やしていかれることが期待される。そのような取り組みを貴事業所のさらなる質の向上につなげていかれてほしい。	
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)			
			管理者との個人面接や忘年会・新年会等職員全員の親睦を保てるよう努力している			介護に関する種々の提案を自由に出してもらい会議で討議している
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)			
			各個人別のロッカーを設置し冷暖房・夜勤の為のソファベッド等を用意している			
安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応						
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)			
			本人が対象者であるかどうかを確認し日常生活上の問題点を充分聞き取り不安のない生活を送ってもらうよう努力する。			日常会話の中で聞き出して要望があれば本人が納得を得るよう考えている

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入居相談を受けた時、本人の十分な今までの生い立ちや現在の生活状況など聞ける範囲内のことを聞いてからこちらの説明をする」		入居に関する要望は充分聞いている
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価)		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 入居当初はなかなか馴れない事は誰でも同じこと。それを少しずつ馴れるように気が合いそうな人と接近してもらっている (外部評価) 入居の際は、職員がご本人に会いに行かれる等、関係作りに努めておられる。又、利用者やご家族に事業所を見学いただけるよう声かけされている。入居間もないころには、ご本人に頻りに声をかけるよう心がけておられる。		家族より入居までの生活等を聞いて他の入居者と性格等合いそうな人と接触してもらおう。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) ほとんどが認知症の方が多いのでこちらもある程度相手の立場に近い状態になり年上の念を出して「また私にもいろいろ教えてね」と言って上手にもっているよう努力している (外部評価) 食事時に、男性の利用者が生きいきと、他の利用者の下膳や台拭きをされていた。又、職員とともにいろいろな歌を歌い、楽しんでおられる様子がうかがえた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 設立者・管理者共に47年間の老人福祉施設で勤務し、色々の入居者・家族とのかかわりをもって経験し、家族の苦労を充分理解している。家族にはあまり心配のないよう安心できるように努める。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 本人が家族に見捨てられたと思う人などは、家族と上手く調整している		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 以前どこかの施設に居た場合はその担当された方等にもお願いして機会があれば会いに来てもらうようお願いをする		ホームの方から連絡をし事情を話して縁が切れないよう電話や年賀状を出してもらうようにしている。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 一人一人の生まれもった環境は異なるから最初はいろいろトラブルも起こることもあると思うけどなるべく弱者の世話が出来る場合など上手にしてとお願いする		日常生活の中で親しみがもてるようしている
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) まだ期間がきてないがそのようにしていく		年賀状・ホーム便りを送って現況の伺いをたてるようにする

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			全員の満足のいく介護は難しいが入居してからの状況を職員が一人ひとりの正確や生活環境を把握してから行っているのほとんど不満はない		
			(外部評価)		
			職員は、利用者と接する機会を多く持てるよう努めておられる。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			入居相談の時に家族や紹介してもらった支援事業所の職員に出来るだけ詳しく状況を聞いておくので本人の希望を出来るだけ添うようにしている		入居時の資料をよく読んで本人・家族と面談して話を聞く
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			充分観察して把握している		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			ここの介護計画を作成担当者を中心に介護職員も交えて検討し作成し家族にも本人にも説明をし、意見を述べてもらってそれに基づいて介護計画を作成している		毎週の勉強会のととき、問題あれば提示してもらい全員で検討する
			(外部評価)		
			日々の記録の書式を活用し、職員の気づきを採り入れ、介護計画を作成しておられる。利用者の状態によっては、かかりつけ医の意見を計画に採り入れておられる。		ご本人の希望を十分に反映できるような計画の作成が期待される。ご家族も一緒に計画を作成していけるような取り組みをすすめていかれてはどうだろうか。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			各人により必要があれば3ヶ月・6ヶ月と変更して一番いい介護計画を作り直している		介護計画は必要に応じて立てなおし本人にとって最善の計画にしている
			(外部評価)		
			6ヶ月ごとの定期的な見直しと、ご本人の状態の変化に応じて随時見直しをされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			すべて計画に基づいたものになっていない事もあるが大きい変化がないことや少しの問題があれば臨機応変に取り組んでいく		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			本人・家族の要望等に応じた支援をしている		
			(外部評価)		
			職員は、病院受診や美容院への付き添い、送迎をされている。ご家族が泊まれるお部屋を作られた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 地域の人や家族の方がいろいろ祭礼の神輿・小学校の運動会やミカンとり等に同道して行っている		市政だより等を見て公民館活動や市の催し等を適当な場所で何かあれば出かけてもいる
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 必要があれば他の支援事業所のケアマネジャーの来訪・話し合いをしている		入居申込み・相談等には他のケアマネジャーは来訪するが日常はあまり交流がない
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 必要なことがあれば相談・話し合いをしている		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 訪問診療の専門員と365日緊急時に対応してもらい日・祭を除く毎日往診してもらっている (外部評価) 利用者、ご家族が希望している医療機関で受診できるよう支援されている。職員は、ご家族とともにご本人の受診に付き添われている。		入居前のかかりつけ医の医療情報提供書をもってこちらの嘱託医より連絡を取り合ってもらって対応している
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 往診専門医に日常の相談は出来、特に必要な場合はその医師の紹介により専門病院で受診することができる		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 正規の職員として1名看護師を雇用しており、大抵のことは対応してもらえる		看護職員と嘱託医の連携により健康管理はしている
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入居した場合はできるだけ早く退院できるよう医療機関にも連携しておおむね1週間に1日は情報をもらっている		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 重度の症状の方は家族と相談の上入院してもらいその後、退院不能の場合は家族と話し合い対応する (外部評価) 入居時、利用者・ご本人の希望があれば、事業所で看取りを支援できることをお伝えしている。状態の変化時には、速やかに医師を含めて話し合うようになっていく。		家族と医師に状況を話してもらって対応している さらに、重度化、看取りの支援について事業所内でも勉強の機会を増やし、職員間で共有できるよう取り組みをすすめていかれてはどうか。又、そのような取り組みをご家族に伝えていかれてほしい。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 前項のようにしているが嘱託医師と相談し家族に状況説明し終末期まで支援している		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 入院等以外居所替えはない		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1.その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価)</p> <p>一人の人格を持った人として一般の人との会話をし個人の情報については関係ない人にはもらすことはない</p>		
<p>(外部評価)</p>			<p>調査訪問時、職員は、利用者に対して問いかけながら支援されている様子が見え、さりげなく口腔の清潔を支援されていた。</p>		<p>さらに、事業所のケアのあり方や考え方について、ご家族と意見交換できるような機会を増やしていかれることが期待される。</p>
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>日常生活については出来る限り本人の意に添うように支援している</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>各人の生活のリズムを優先しよりよい日常生活を送れるよう努力している</p>		
<p>(外部評価)</p>			<p>毎朝、近くのご自宅まで新聞をとりに行き、読まれている利用者がおられる。ご自分の畑で野菜作りもされている。食事を早々にすませ、高校野球をテレビで観戦される方や手編み物・裁縫をされる方もおられた。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		(自己評価) 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	本人の望む衣装を着せてあげ「よく似合うね」と声かけをし女性には薄く化粧をしてあげ本人の希望する美容院へも連れて行く		理・美容院より電話をもらって迎えに行く
54	22	(自己評価) 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員も一緒に献立の味や内容について話したり、入居者の出来る手伝いもしてもらう (外部評価) 配食サービスを利用されており、利用者と同じ食事を摂る職員もおられる。お汁やサラダ等は事業所で手作りされることもある。利用者の状態や希望に応じて食材を刻んだり、ミキサーに掛ける等、ご本人が食べやすいようにされていた。つくしを取りに行き煮物をされたり、ぼた餅作り等もされている。		さらに、日々の食事について利用者ご本人、ご家族の意見を聴くような機会を設けられてはどうか。
55		(自己評価) 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	本人の個々の好みで定時のおやつ以外にコーヒー・タバコは禁煙場所でもらっている		
56		(自己評価) 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	個々の排便排尿の時間を把握して失敗のないようにトイレ誘導してなるべくおむつを減らすようにしている		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			入浴は隔日に決めているが夏の期間は自由にシャワー入浴はしてもらっている		入浴・シャワーは必ず職員が一人ついて見守っている
			(外部評価)		
			入浴がお好きな方が多く、トラブルを避けるために順番表を作っておられた。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			日中はなるべく離床してもらい軽運動してもらい夜は眠ってもらうよう支援している		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			個々の若い時の生活歴を見て本人の趣味を見出して編み物・作品作り・園芸等してもらっている		洗濯物干し・たたみは出来る人にはしてもらっている
			(外部評価)		
			所定の喫煙所で食後の一服を楽しまれている方がうかがえた。食事前にお口の体操を行う際、リーダーとなってくれる利用者の方がおられた。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			家族が本人にお金は持たしていない人がほとんどで外食・買物等については一応「家族から預かったよ」と言って本人に買う楽しみをつくっている		お金の所持は比較的トラブルの原因になりやすいので本人の所持はしてもらわないようにしている

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			天気のよい日は出来る限り外出するよう心掛けている。海岸へドライブ・お寺まわり等数人づつ連れて行くようにしている		
			(外部評価)		
			利用者が飼っている犬の散歩や神社へのお参りに出かけておられる。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			春にはよもぎ取り・伊予柑とり・つくしとり・花見等家族・ボランティアの協力もお願いして一緒に行く		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			家族より本人へ電話をかけてもらったり又、暑中見舞い・年賀状等も自筆で書いてもらい家族との交流を作っている		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			家族等の訪問等がある場合は自室で話してもらうように又、数人の場合は娯楽室などでも暖かくして使用してもらっている		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束はしていない。出来るだけそれは考えないよう努める		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 鍵かけは一切していない (外部評価) 日中は、自由に利用者が出入りできるよう玄関に鍵をかけることはなく、職員がさりげなく見守りをされている。		本人が外へ出かけた希望があれば職員がついてどこまで行きたいのか聞いて一緒にいけるところまで行ったりもしている
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 夜間は定時に居室の様子を注意し昼間も屋内に居る時・屋外の場合は常に職員と一緒にしている		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 注意をしなければならない品物は入居者の見えない場所に置く		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 毎週1回の勉強会に取り組み又、年間の消防訓練にも消防署職員より緊急時の指導を受けている		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 職員会の時や消防訓練の時にも指導してもらい研修するけれど定期的は行っていない		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 消防訓練の時に入居者の避難については近隣の方にも参加してもらって協力してもらうようお願いしている (外部評価) 消防署の指導の下、消火訓練や利用者も参加し、火災時の避難訓練を実施された。開設時、近隣の方々に災害時に協力いただけるようお願いに出向かれた。		常日頃より近所の方との付き合いが大切で出来るだけ挨拶等は全職員にも徹底している 今後、夜間の避難訓練の実施も予定されている。さらに、地域との関係性を深め、相互協力の体制を強化していけることが期待される。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 必要な時には家族に話すこともあるが家族会の時など一般的な話をする		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎日嘱託医の訪問を受けているので個々の体調については把握しているので緊急の場合はすぐ医師に往診してもらっている		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) ケース記録に本人必要な薬の説明書を綴っているの で良く読んでもらっている。特に、異常な場合は看護師 より医師に報告する		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、 予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動か す働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 概ね便秘がちであるので水分補給やラジオ体操・歩 行運動を積極的に行い排便チェックを記録し便秘の 場合は対応する		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、 一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしてい る	(自己評価) 毎食後歯磨きの励行をする。一人ひとり洗面場で入 れ歯もはずし職員も協力して行っている(夜間はポ リデント使用)		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じ て確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣 に応じた支援をしている	(自己評価) 食事の時は水分も充分補給するようにしおやつ時 間(10時・3時)に必ず飲物を提供する (外部評価) 配食サービスを利用されている。食事時・おやつ ・お風呂上りに飲み物をすすめておられる。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、 実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、 ノロウイルス等)	(自己評価) 日常的に手洗いを励行しホーム内の整頓をきちん として清潔にし寝具等の日光消毒を徹底している		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 調理場の清潔を第一とし食器は食器消毒乾燥機を使っている。食材は冷蔵庫に保存する。賞味期限等々を注意する		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関入り口周りには時季折々の草花・植木を置いて又、周辺にも植木を並べて季節感を持たせて違和感のない雰囲気作りになっている		玄関前には四季の花を植え、屋内には観葉植物を置き、食卓の上にも花瓶にも四季の花をさしている
81	29	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 屋内も清潔感・季節感をもたせるよう飾り物・置物・植木等を配置して明るい雰囲気をもたせるようにしている		
			(外部評価) 事業所内は、自然の光を十分に採り入れ、お雛様や桃の花が飾られていた。		
82		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 娯楽室は誰でも自由に過ごせるよう使っている		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			自分の部屋は本人・家族の思い思いで品物を置き好きにしている		
			(外部評価)		
			嫁入り道具の鏡台・ご家族の写真・テレビ・洋服かけ・カレンダーが持ち込まれていた。入居前から飼っていた犬を入居後も飼い、かわいがっておられた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			朝・夕は窓を開け換気に注意し天気の良い日は布団干しもして清潔を保つよう努力している		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			本人に出来る最大限の機能を低下しないよう体操・歩行等を行っている		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			食事や排泄についても自分が出来るように促し「大丈夫だから心配ないよ」等声かけをして自分が出来るようなことは本人にしてもらうように工夫している		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			屋外に縁台を置いて日向ぼっこをしながら花の植木替えやおやつを食べたりもしている		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	日頃、共有スペースでの作業など一緒に行い話をしている中で利用者の今思っている考えや願いを自然なかたちで聞き職員会などで話し合っている。利用者よりの不安や不満は感じられない。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ②数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	入居日以外はおやつ時間談笑してお茶を飲むことも出来る
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	強制する事無く今一番したいことを出来る環境にしている。食事やおやつ以外は自分の好きなことを自由に時間を過ごしてもらっている
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	支援することで失敗がなくなり、それが自信となり生き生きとした姿がよくみられる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	寝たきりや車椅子等、身体が不自由な人は自由にはでかけられないがそれ以外の利用者は、介護職員と一緒に可能な限り戸外に出かけている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	医師が毎日の往診もある。(365日24時間対応)正看護師も常勤しているので利用者には安心して毎日を過ごしてもらっている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の身体状況など全職員申し送りにて把握するようにしているから柔軟な支援ができていたので利用者は、安心して過ごしている
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ①ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会の時に家族とは話す場をもち信頼関係は出来ていると思う。信頼関係ができていたので利用者の事や不安なことを伝えてきてくれるのだと感じている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③たまに 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 4 ほとんどない	以前の知人がよく訪ねて来ている

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② ① ③ ④ 1 大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	地元の方の入居希望が大変多くなった
98	職員は、生き活きと働けている (自己評価) ① ② ③ ④ 1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	明るく勤務してくれている
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ① ② ③ ④ 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	不平不満が見られない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ① ② ③ ④ 1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	不満の申し立てもない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

1階では、昼間は自分のペースで生活をする方が多いのですがなるべくボール遊びで手足を動かしたり、貼り絵で行事の掲示物作り、カラオケ・紙芝居など楽しい毎日得お過ごせるようにしています。
 (曜日ごとに共有スペースで行う行事を変えて、一日の変化をつけています。)
 地域の行事にも行ける人は積極的に参加し、バザー等では買う楽しさ、つくし採りやみかんがり・お花見等は感じる楽しさを感じてもらっています。
 節分には鬼に変装した職員に対し他の職員と一緒に豆で鬼退治。クリスマスにはサンタクロースからプレゼントをもらい、お正月はおせち料理やお餅つきをして利用者が餡を作り丸めワイワイと食することができます。
 10時にはラジオ体操を行い体を充分動かしておやつとなります。食事の前にはこのリハビリ計画での歩行を行い、席についてからはお口の体操で唾液腺より唾液の分泌を良く上を食事をおいしくとってもらおうようにしています。(その人にあった食事スタイルになってます。)
 年に数回は家族を交えて表彰式も行い『自分で頑張ることが出来た』という自信がつくように表彰状と粗品を渡す行事もあります。(全利用者に行っています)